国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 25 年 4 月 15 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橘高　公久
電話番号　　03-5572-0233

チモール海共同石油開発地域
保有探鉱鉱区に係る生産分与契約の新規締結について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社であるインペックスチモールシー株式会社を通じて、東チモール民主共和国とオーストラリア連邦により共同管理されているチモール海共同石油開発地域内の JPDA06-105 鉱区において、オペレーターのイタリア炭化水素公社エニ社他とともに、探鉱開発・原油生産事業を推進しています。

同鉱区内キタン油田は、2011 年 10 月 10 日より原油生産を開始し現在も順調に操業をおこなっていますが(*)、キタン油田周辺の探鉱エリアについて探鉱作業の契約期限を迎えたことから、このたび、子会社であるインペックス東チモール沖石油株式会社（以下、同社）を通じ、この探鉱エリアを新規鉱区 JPDA11-106 鉱区（以下、本鉱区）として新たな生産分与契約を東チモール民主共和国石油当局と締結し、引き続き探鉱開発活動を実施していくこととなりましたので、お知らせいたします。

(*)キタン油田の生産開始については、2011 年 10 月 11 日に公表した当社プレスリリースをご参照ください。
http://www.inpex.co.jp/news/pdf/2011/20111011.pdf

本鉱区は、東チモール民主共和国の首都ディリから南方約 240km（オーストラリア連邦ダーウィンから北西約 500km）に位置し、鉱区面積は 662km²、水深約 100～500m です。同社は 35.47%の権益を保有し、オペレーターのエニ社（40.53%)および東チモール共和国国営石油会社であるチモールガスアンドペトロレオ E.P.社(24%)とともに、本鉱区における探鉱開発活動を行ってまいります。

当社は、チモール海共同石油開発地域においては、本鉱区およびキタン油田の位置する JPDA06-105 鉱区に加え、LNG、LPG およびコンデンセートを生産するバユ・ウンダンプロジェクト（上流事業および天然ガス輸送液化事業）に参画しております。また、オーストラリア連邦においては、世界的にも大規模な LNG プロジェクトであるイクシス LNG プロジェクトの開発作業をオペレーターとして推進しているほか、ヴァンゴッホ油田およびラベンスワース油田の生産事業にも参画しております。当社は今後も、チモール海共同石油開発地域を含む当社事業の中核的地域であるアジア・オセアニア地域での事業展開に積極的に取り組んでまいります。

以上

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

＜鉱区概要＞

鉱区	JPDA 11-106 (662km²)	
権益比率	Eni JPDA 11-106 B.V.（オペレーター）	40.53%
	インペックス東チモール沖石油㈱	35.47%
	TIMOR GAP PSC 11-106, Unipessoal, Limitada	24%
鉱区位置	東チモール共和国首都ディリ	南方約 240km
	オーストラリア連邦ダーウィン	北西約 500km
水深	100～500m	

＜鉱区位置図＞

